

**令和6年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 被表彰者一覧**

表彰基準(1) 新たな取組みや困難な課題等に果敢にチャレンジしたもの

(敬称略)

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
1	神奈川工業高等学校	個人	石原 志基	3	体育祭でねぶたの技法を取り入れたパネルを作り全審査員の満点によりマスコット部門で優勝した。
2	神奈川工業高等学校	個人	太田 葉月	3	文化祭でマレーシアフェアを企画運営し、実際にマレーシア人ゲストを招待し文化祭を盛り上げた。
3	神奈川工業高等学校	個人	大東 祥太郎	3	茶道部に所属し礼儀作法を身につけ、入門と習事の免状を取得した。
4	神奈川工業高等学校	個人	加藤 さあら	3	第62回神奈川県高等学校総合体育大会総合ポスターコンクールで最優秀賞を受賞した。
5	神奈川工業高等学校	個人	川端 雄太	3	全国工業高等学校長協会主催の高校生海外研修に参加した。
6	神奈川工業高等学校	個人	木崎 恵真	3	料理同好会設立時から積極的に活動し、部へと昇格させ、3年次では部長として部員をまとめた。
7	神奈川工業高等学校	個人	栗田 颯人	3	難易度の高い第三種電気主任技術者の資格を取得した。
8	神奈川工業高等学校	個人	向後 翼	3	3年間連続で文化祭の劇・ヒーローショーの総演出総指揮を1人で担当し、文化祭を盛り上げた。
9	神奈川工業高等学校	個人	小嶋 悠人	3	全国高体連選抜チームに水球のキーパーとして選拔され、日本選手権水球競技大会に出場した。
10	神奈川工業高等学校	個人	高山 祐輔	3	文武両道の学校生活を送り、行事においてもリーダーシップを発揮した。
11	神奈川工業高等学校	個人	中澤 清一郎	3	茶道部に所属し礼儀作法を身につけ、入門と習事の免状を取得した。
12	神奈川工業高等学校	個人	橋本 舞	3	体育祭においてデザイン科の団長として生徒の先頭に立ち、初の単独での総合優勝をした。
13	神奈川工業高等学校	個人	畑中 葵斗	3	クリエイション部を部長としてまとめ、多くの中学生にものづくりの面白さを体験させた。
14	神奈川工業高等学校	個人	藤田 涼	3	文化祭でフェアトレードブースを企画運営し、オリジナルブランド商品を開発し販売した。
15	神奈川工業高等学校	個人	藤本 幸那	3	美術部に所属し、オレンジカップ2024アイデアのタネコンテストにおいて優秀賞を受賞した。
16	神奈川工業高等学校	個人	堀 港太	3	体育祭実行委員の委員長として生徒をまとめ、体育祭を成功に導いた。
17	神奈川工業高等学校	個人	山田 駈	3	茶道部に所属し礼儀作法を身につけ、入門と習事の免状を取得した。
18	神奈川工業高等学校	個人	渡邊 大祐	3	茶道部に所属し礼儀作法を身につけ、入門と習事の免状を取得した。
19	神奈川工業高等学校	個人	有留 美音	2	かながわ高校生チャレンジボランティアポスターコンクールで優秀賞を受賞した。
20	神奈川工業高等学校	個人	飯塚 俊太郎	2	TECHLABのScratch班において1年生をまとめ、自らも司会を務めた。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
21	神奈川工業高等学校	個人	石井 雅也	2	神奈川県高等学校新人陸上競技大会男子やり投にて3位となり、関東大会に出場した。
22	神奈川工業高等学校	個人	田中 優誠	2	文化祭の体育館プロジェクトマッピング企画を考え、実行した。
23	神奈川工業高等学校	個人	藤門 桃羽	2	かながわ高校生チャレンジボランティアポスターコンクールで優秀賞を受賞した。
24	神奈川工業高等学校	個人	養内 真子	2	第28回関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会において女子ハンマー投に出場した。
25	神奈川工業高等学校	個人	吉川 美沙希	2	全国高校総合文化祭岐阜大会写真専門部撮影コンテスト部門で優秀賞（4位）を受賞した。
26	神奈川工業高等学校	団体	家庭クラブ実行委員	—	第72回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会神奈川大会の準備と運営を行った。
27	神奈川工業高等学校	団体	ダンス部	—	PTA横浜北地区発表会にて、当該校の代表としてダンス部の活動の成果発表をした。
28	神奈川工業高等学校	団体	遅刻米	—	これまでに実績のない高文連の公式大会への出場など、音楽部の改革を主導した。
29	神奈川工業高等学校	団体	デザイン科 アーチ・ステージ班	—	文化祭の装飾担当として、企画物の制作から広報に至るまで、トータルイメージを展開し活躍した。
30	神奈川工業高等学校	団体	デザイン科 神工節電ナッジプロジェクトチーム	—	神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室企業連携グループと、節電に向けたナッジ活動を実施した。
31	神奈川工業高等学校	団体	電気研究同好会 電気工事チーム	—	高校生ものづくりコンテスト電気工事部門において、チームワークを発揮し準優勝した。
32	神奈川工業高等学校	団体	電気研究同好会 電子回路組立チーム	—	高校生ものづくりコンテスト出場に向け、自己の技術の向上と、1年生の指導に尽力した。
33	神奈川工業高等学校	団体	横浜STEAM EXPO 2024 生徒実行委員会	—	横浜STEAM EXPO 2024において、生徒実行委員としてイベントの成功に貢献した。
34	神奈川工業高等学校	団体	ロボティクス部	—	第32回全国高等学校ロボット競技大会全国大会出場をはじめ、各種大会で好成績を収めた。
35	神奈川工業高等学校	個人	普天間 琥珀	4	1学年時より4年連続で、県大会予選を経て全国定時制通信制体育大会自転車競技大会に出場した。
36	神奈川工業高等学校	個人	濱田 流桜	2	全国高等学校定時制通信制体育大会第55回柔道大会男子団体戦に神奈川Bチームとして出場した。
37	神奈川工業高等学校	団体	定時制 建築研究部	—	身近な城である小田原城に関心を持ち、新聞紙を用いて精密な模型を完成させた。
38	神奈川工業高等学校	団体	定時制 軟式野球部	—	神奈川県定通軟式野球春季大会優勝、第71回全国高等学校定時制通信制軟式野球大会に出場した。
39	神奈川総合高等学校	団体	放送部	—	自分たちで課題解決に向けて練習メニューを考えるなど、日々の活動を工夫して技術を磨いた。
40	横浜翠嵐高等学校	団体	国際交流委員会	—	新たな国際交流行事の企画や大会参加等をとおり、委員会活動として国際交流の機会を充実させた。
41	横浜国際高等学校	個人	中塚 仁	3	英語による実践的コミュニケーション能力の向上に取り組む、高い英語運用能力を身に付けた。
42	横浜国際高等学校	個人	樋口 怜奈	2	英語による実践的コミュニケーション能力の向上に取り組む、高い英語運用能力を身に付けた。
43	横浜国際高等学校	個人	若鍋 雄大	2	学業と両立しながら、クラブチームでのヨットの活動においてインターハイに出場した。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
44	商工高等学校	個人	遠藤 康	3	資格検定やコンテストでの受賞など、技術研究部で技術の研鑽に取り組んだ。
45	商工高等学校	個人	萩原 愛優美	3	技術研究部で技術の研鑽に取り組み、大会・コンテストに挑戦し入賞した。
46	商工高等学校	個人	分目 姫子	3	野球部のマネージャーとして選手を3年間支えた。朝日新聞DIGITALでも取り上げられた。
47	商工高等学校	団体	岩崎 功 西尾 空晟	—	技術研究部で技術の研鑽に取り組み、多くの大会・コンテストに挑戦し入賞した。
48	商工高等学校	団体	課題研究（らーめんプロデュース）	—	株式会社舵屋と連携し、ラーメン舵屋で販売するオリジナルラーメンの開発を行った。
49	商工高等学校	団体	産業教育フェア運営委員	—	環境問題について検討し、海岸や河川のゴミ拾いや啓発活動を行った。
50	商工高等学校	団体	総合ビジネス科3学年 流通系（商品開発と流通）	—	横浜ベイホテル東急と連携し、カフェ トスカのクリスマスビュッフェ新メニューを開発した。
51	商工高等学校	団体	ビジネス研究部	—	令和6年度神奈川県高等学校生徒商業研究発表大会で優秀賞を受賞し、関東大会へ進出した。
52	二俣川看護福祉高等学校	個人	中村 龍生	3	学校説明会や学校行事で力を発揮し、授業や部活動に真摯に取り組んだ。
53	二俣川看護福祉高等学校	個人	米山 碧玲	3	生徒会長として学校説明会や行事で力を発揮し、学習と部活動を両立した。
54	二俣川看護福祉高等学校	団体	阿部 直香 河野 音々 宮崎 優空	—	県代表として令和6年度関東地区福祉研究発表会福祉研究部門に出場し、優秀賞を受賞した。
55	二俣川看護福祉高等学校	団体	黒瀬 風佳 後藤 歩 中倉 恋海	—	県代表として令和6年度関東地区福祉研究発表会介護技術部門に出場し、優良賞を受賞した。
56	二俣川看護福祉高等学校	団体	神原 ほのか 谷 優花 仲岡 莉央	—	令和6年度神奈川県高校生福祉研究発表会ベッドメイキング部門に出場し、優秀賞を受賞した。
57	横浜水取沢高等学校	個人	大島 沙那子	3	図書委員としての取組の中で、工夫を凝らした図書紹介に努めた。
58	横浜水取沢高等学校	個人	大森 聖允	3	陸上競技部の練習において、顧問と練習方法について工夫を重ね、競技力の向上を図った。
59	横浜水取沢高等学校	個人	小山田 美桜	2	図書委員としての取組の中で、工夫を凝らした図書紹介に努めた。
60	横浜水取沢高等学校	個人	—	—	文芸・競技かるた部の活動において、数々の作品制作に取り組んだ。
61	釜利谷高等学校	個人	石川 勇翔	3	JOC ジュニアオリンピックカップ、第48回全日本高校ボウリング選手権大会に出場した。
62	釜利谷高等学校	団体	保健委員会	—	校内学習室照度調査を行い、課題等の提案をまとめた。
63	港北高等学校	個人	萱野 夕歌	3	文化祭実行委員長として体育祭の成功に向けて積極的に取り組んだ。
64	港北高等学校	個人	河瀬 姫菜	3	体育祭実行委員長として体育祭の成功に向けて積極的に取り組んだ。
65	港北高等学校	個人	菊池 奏仁アンディ	3	放送部に所属し、第48回全国高等学校総合文化祭朗読部門で最優秀賞を受賞した。
66	港北高等学校	個人	武藤 大晴	3	水泳部に所属し、関東高等学校水泳競技大会に出場した。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
67	港北高等学校	個人	安岡 愛海	3	生徒会長として学校行事の成功に向けて積極的に取り組んだ。
68	港北高等学校	個人	小松 由依	2	書道部に所属し、第48回全国高等学校総合文化祭に出場した。
69	港北高等学校	団体	家庭クラブ 商品係	—	第72回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会神奈川大会に参加し、運営に貢献した。
70	港北高等学校	団体	家庭クラブ 表彰係	—	第72回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会神奈川大会に参加し、運営に貢献した。
71	港北高等学校	団体	文化祭プロジェクトチーム	—	半年以上かけて他校の規定を調査し、当該校に合う文化祭規定を作成し、校内に発表した。
72	港北高等学校	団体	陸上競技部 女子4×100m、4×400mリレーチーム	—	関東高等学校陸上競技大会南関東地区予選会に出場した。
73	港北高等学校	団体	陸上競技部 男子4×400mリレーチーム	—	関東高等学校陸上競技大会南関東地区予選会に出場した。
74	新羽高等学校	団体	生徒広報ボランティア	—	大会等の写真を撮りに行き、その素材等から作った部活動広報ポスターの校内掲示を行った。
75	白山高等学校	個人	山口 映歩	2	書道部としてコンクールや文化祭の出展などの活動に意欲的に取り組んだ。
76	白山高等学校	団体	生徒会	—	体育祭や文化祭などの学校行事を生徒主体で企画・運営した。学校の広報活動に貢献した。
77	田奈高等学校	個人	飯島 歩乃春	3	第46回文化祭実行委員会委員長として、全校生徒の士気を高め、文化祭を成功させた。
78	田奈高等学校	個人	木村 瑛太	3	テニス部に競技未経験で入部し、部員1名の中、地道に練習に取り組み、県大会に出場した。
79	田奈高等学校	個人	山崎 まのか	3	第45回体育祭実行委員会委員長として、全校生徒の士気を高め、体育祭を成功させた。
80	川和高等学校	個人	西尾 舞洋	1	学校外のスポーツ活動に積極的に取り組み、スカッシュ競技の国際大会で優秀な成績を収めた。
81	横浜桜陽高等学校	個人	石川 晴隆	3	学校案内・ポスター等のデザインに数多くの作品を提供し、学校の広報活動に貢献した。
82	柏陽高等学校	個人	麻賀 歩来	3	体育祭実行委員長として、生徒の主体的な行事運営を統率した。
83	柏陽高等学校	個人	関矢 祐嵩	3	文化祭実行委員長として、生徒の主体的な行事運営を統率した。
84	松陽高等学校	団体	女子バスケットボール部	—	日々努力し、県大会ベスト8以上の成績を収めた。また、清掃活動を行い地域に貢献した。
85	横浜修悠館高等学校	個人	内川 心頼	3	書道部にて、第55回神奈川県高等学校教育書道コンクールで日本書写技能検定協会賞を受賞した。
86	横浜修悠館高等学校	個人	藤田 凜仁	3	音楽研究部でヴァイオリン演奏と合唱で活躍し、第54回定通芸術祭で審査員特別賞を受賞した。
87	横浜修悠館高等学校	個人	吉田 彩乃	3	パリ2024パラリンピックに日本代表選手として陸上100mに出場し、入賞した。
88	横浜修悠館高等学校	個人	福井 千晶	2	美術部にて作品制作を行い、第59回神奈川県美術展中高生特別企画展で有隣堂賞を受賞した。
89	川崎工科高等学校	個人	木野下 悠世翔	3	国家資格の取得やものづくりコンテストにおいて優秀な成績を収めた。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
90	川崎工科高等学校	個人	佐藤 優仁	3	硬式野球部の活動、国家資格の取得、学業に取り組み、文武両道であった。
91	川崎工科高等学校	個人	長沼 澄海	3	テニス部の活動、工業に関する資格取得やイベントに参加した。
92	川崎工科高等学校	個人	肥後 丈	3	陸上競技部の活動と高校生ものづくりコンテストを文武両道として取り組んだ。
93	川崎工科高等学校	個人	廣瀬 人夢	3	アマチュア無線部において、大会で優秀な成績を収めた。
94	川崎工科高等学校	個人	松木 悠馬	3	難易度の高い資格取得や工業系の行事等に積極的に参加した。
95	川崎工科高等学校	団体	川崎工科STEAM EXPO チーム	—	氷融かしレースや横浜 STEAM EXPO 2024等のイベントに積極的に取り組んだ。
96	多摩高等学校	団体	SSHメラープロジェクト部	—	SSH生徒研究発表会において研究成果が全国的に評価され、課題研究を高度化した。
97	向の岡工業高等学校	個人	中澤 咲成	3	全国選抜高校生溶接技術競技会に出場し7位に入賞した。
98	向の岡工業高等学校	団体	山岳部（スポーツクライミング）	—	神奈川県大会の男子団体において、リード、ボルダー、スピードの各種目で1位となった。
99	向の岡工業高等学校	団体	畠平 直希 大松 瑞姫	—	関東ロボット相撲大会高校生の部3kgクラスにおいて2位となり、全国大会出場が決定した。
100	向の岡工業高等学校	団体	藤田 直弥 田中 龍輝 長久保 枢 森下 眞光 浦川 雄生	—	コンクリート甲子園にエントリーし、全国の上位10校が出場する本選に選出された。
101	向の岡工業高等学校	団体	森 翔太郎 飯村 賢輝	—	関東ロボット相撲大会高校生の部3kgクラスにおいて1位となり、全国大会出場が決定した。
102	横須賀高等学校	個人	永井 咲弥	2	陸上競技部で新たな練習に果敢に挑戦したことで自らの課題を克服し、大きな成果を残した。
103	横須賀高等学校	個人	松永 旬平	2	全日制の広報活動に関し学校紹介動画や説明会用スライドを鋭意作成し学校説明会の充実を図った。
104	横須賀工業高等学校	個人	島袋 智生	3	当該校初の測量士補試験合格を含む多くの資格を取得した。
105	横須賀工業高等学校	個人	新倉 琉靖	3	電子研究部で無線技術の高さにより活躍した。また、生徒の立場からの学校PRの役割を担った。
106	横須賀工業高等学校	個人	濱田 真里	3	高校生の建築甲子園への挑戦や、その他建築製図コンクール等で活躍した。
107	横須賀工業高等学校	個人	古田 大夢	3	当該校初の2級土木施工管理技術検定（第一次検定）合格を含む多くの資格を取得した。
108	横須賀工業高等学校	団体	建設研究部	—	高校生ものづくりコンテストや建築甲子園へ出場し、学校行事等でも活躍した。
109	横須賀工業高等学校	団体	横浜STEAM EXPO 2024運営事務局（広報・宣伝チーム）	—	横浜STEAM EXPO 2024の広報・宣伝の役割を担った。
110	横須賀工業高等学校	団体	横浜STEAM EXPO 2024運営事務局（動画編集チーム）	—	横浜STEAM EXPO 2024の動画編集の役割を担った。
111	海洋科学高等学校	個人	丸山 巧成	3	マダカアワビの種の保存や保全管理の一助と純粋種及び交雑種の形態と形質の差異を解明した。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
112	海洋科学高等学校	個人	鈴木 大地	2	ウエイトリフティングでインターハイに出場したほか、乙四危険物、二海特無線技士等を取得した。
113	海洋科学高等学校	個人	吉梅 市琉	2	無線技術科広報活動を行った。また、英検2級、第四級海上無線通信士に合格した。
114	海洋科学高等学校	団体	坂本 優月 鈴木 知里 山口 桃	—	科目・課題研究における、社会的ニーズを意識した新しい缶詰の開発と製造及び販売を行った。
115	追浜高等学校	個人	小島 星大	4	バドミントン部で1人で練習に励み、全国大会県団体メンバーに選出され、勝利に貢献した。
116	平塚江南高等学校	団体	第72回全国高等学校家庭クラブ神奈川大会生徒実行委員会	—	第72回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会神奈川大会において、大会の準備・運営に尽力した。
117	平塚農商高等学校	個人	森 花蓮	3	高校生能登応援商店街生徒実行委員長として貢献した。
118	平塚農商高等学校	団体	伊藤 翼 飯塚 美咲	—	横浜 STEAM EXPO 2024運営事務局として、準備及び当日の運営に貢献した。
119	平塚工科高等学校	団体	小泉 律煌 平田 姫菜	—	産業教育フェアの成功に向けて、校内及び連携企業との調整等を行い、工業の魅力を発信した。
120	藤沢工科高等学校	個人	神谷 優希	3	ものづくりコンテストでの受賞や資格取得に向け努力をするなど、建築技術の研鑽に努めた。
121	藤沢工科高等学校	個人	松永 頼徒	3	建築配管技術の習得に励み、県内の高校生初となる国家資格の取得を達成した。
122	藤沢工科高等学校	団体	家庭クラブ	—	第72回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会神奈川大会に向け、準備段階から運営に貢献した。
123	藤沢工科高等学校	団体	横浜STEAM EXPO 2024 中学生ロボテックチャレンジ運営チーム	—	横浜STEAM EXPO 2024において、中学生ロボット競技大会の運営に貢献した。
124	藤沢総合高等学校	個人	北 龍之介	3	野球部で部員を集め単独チームで夏季大会に出場した。生徒会長として学校行事を活性化させた。
125	湘南台高等学校	団体	40周年記念行事準備委員会	—	創立40周年を記念して、生徒による記念の歌づくり等に取り組んだ。
126	茅ヶ崎高等学校	団体	家庭クラブ	—	第72回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会神奈川大会において円滑な運営を行った。
127	鶴嶺高等学校	団体	家庭クラブ	—	第72回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会神奈川大会の生徒実行委員として運営に貢献した。
128	茅ヶ崎西浜高等学校	個人	南口 渚風	3	陸上競技部で新しい練習方法を実践し、部全体に取り入れ、全部員のレベルアップに貢献した。
129	茅ヶ崎西浜高等学校	個人	森田 愛莉	1	地域のコミュニティ構成メンバーとして地域と協力し、地域の活性化に尽力した。
130	茅ヶ崎西浜高等学校	団体	家庭クラブ委員会	—	県内の家庭クラブ員と協力し第72回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会神奈川大会に貢献した。
131	茅ヶ崎西浜高等学校	団体	書道部	—	神奈川県青少年毎日書道展上位入賞、パフォーマンス大会準優勝など、技術向上に努めた。
132	相原高等学校	個人	石堂 伶奈	3	難易度の高い検定試験に熱心に取り組んだ。
133	相原高等学校	個人	小笠原 華絵	3	難易度の高い検定試験に熱心に取り組んだ。
134	相原高等学校	個人	小俣 龍我	3	難易度の高い検定試験に熱心に取り組んだ。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
135	相原高等学校	個人	新里 成美	3	難易度の高い検定試験に熱心に取り組んだ。
136	神奈川総合産業高等学校	個人	前嶋 季咲	3	放課後や長期休業を用いて技術・技能を磨き1年から高校生ものづくりコンテスト大会に出場した。
137	神奈川総合産業高等学校	団体	神藤 みう 岡本 龍生	—	横浜 STEAM EXPO 2024において、幹部としてイベントを成功に導いた。
138	相模原高等学校	個人	田中 彩絵	2	大谷翔平&ECC共同プロジェクトSHOW YOUR DREAMS2024に参加した。
139	相模原高等学校	個人	渡辺 敬太	1	フローボールのクラブチームの活動と学校内の活動を両立させた。
140	相模原高等学校	団体	英語ディベート部	—	日々の練習に取り組み、英語ディベート世界交流大会で準優勝した。
141	相模原高等学校	団体	軽音楽部 せんとらる	—	日々練習に励みながら関東大会グランプリ、世界大会で優秀賞を受賞した。
142	相模原高等学校	団体	女子バスケットボール部	—	体育館改修工事で10か月、体育館が使えない中、練習場所、練習方法を工夫して部活動に励んだ。
143	相模原高等学校	団体	女子バレーボール部	—	体育館改修工事で10か月、体育館が使えない中、練習場所、練習方法を工夫して部活動に励んだ。
144	相模原高等学校	団体	卓球部	—	体育館改修工事で10か月、体育館が使えない中、練習場所、練習方法を工夫して部活動に励んだ。
145	相模原高等学校	団体	男子バスケットボール部	—	体育館改修工事で10か月、体育館が使えない中、練習場所、練習方法を工夫して部活動に励んだ。
146	相模原高等学校	団体	男子バレーボール部	—	体育館改修工事で10か月、体育館が使えない中、練習場所、練習方法を工夫して部活動に励んだ。
147	相模原高等学校	団体	バドミントン部	—	体育館改修工事で10か月、体育館が使えない中、練習場所、練習方法を工夫して部活動に励んだ。
148	相模原高等学校	団体	ビスマス研究チーム	—	SSH全国大会で当該校代表として課題探究発表を行った。
149	上溝南高等学校	個人	アタル カベルカン	3	2023SHORINJI KEMPO World Taikaiで演武を披露した。
150	上溝南高等学校	個人	林 夏生	2	MCCスポーツ和倉ユースサッカー大会、日本クラブユースサッカー選手権関東大会に出場した。
151	上鶴間高等学校	個人	白石 帆果	3	吹奏楽部員は1名だったが、新入生が入部し12名となり、野球部の応援やコンクールに出場した。
152	上鶴間高等学校	個人	高田 琥太郎	3	生徒会本部の会長として、生徒主体の学校づくりにリーダーシップを発揮した。
153	上鶴間高等学校	個人	大野 さくら	2	2023年度実用英語技能検定2級に合格し、ブリティッシュ・カウンシル駐日代表賞を受賞した。
154	上鶴間高等学校	団体	軽音楽部 TRE@SON	—	第11回全国高等学校軽音楽コンテストでオリジナル曲を演奏し、準グランプリを受賞した。
155	上鶴間高等学校	団体	ダンス部 badass	—	第17回日本高校ダンス部選手権大会予選において4位に入賞し、全国準決勝大会に出場した。
156	橋本高等学校	個人	田川 映士	3	剣道部で個人の技術を磨くとともに、部全体の技術力向上に貢献した。
157	橋本高等学校	個人	ダニエル アラン	3	難易度の高い資格取得や外国につながるのある後輩の指導を積極的に行った。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
158	橋本高等学校	個人	レックスロード ローガン海	3	難易度の高い資格取得に取り組んだ。また、英語の授業や多文化教室でリーダー的な役割を担った。
159	相模原弥栄高等学校	個人	川口 夢花	2	学業と野球部のマネージャーの両立に加え、アルバイトにより海外研修旅行の費用を自ら用意した。
160	相模原弥栄高等学校	個人	永井 愛理	2	サッカー部とクラブチームでの活動を両立し、女子U-17日本代表に選出された。
161	相模原弥栄高等学校	団体	生徒会本部 文化祭実行本部	—	文化祭の後夜祭で、生徒の要望により昨年から検討していた花火の打ち上げを初めて実現した。
162	三浦初声高等学校	団体	産業教育フェア実行委員会	—	産業教育フェアをとおり、中学生や県民に専門学校への理解促進を図った。
163	三浦初声高等学校	団体	農業クラブ員	—	少ない生徒数ながら、農業クラブ県大会を企画、立案、実施した。
164	秦野曾屋高等学校	団体	生徒会	—	学校説明会を生徒主体の形に変更した。
165	厚木王子高等学校	個人	田村 陽奈	3	全国高等学校ビジネス計算競技大会電卓の部で団体優勝、個人で準優勝し、全国大会に出場した。
166	厚木王子高等学校	個人	浦野 真緒	2	令和6年度全国高等学校弓道選抜大会県予選にて個人2位に入賞し、全国大会の出場権を得た。
167	厚木王子高等学校	個人	太田 侑斗	1	全日本少年少女空手道選手権大会で高校生軽量の部3位など多数の大会で入賞した。
168	厚木王子高等学校	個人	柳田 心優	1	全国高等学校ビジネス計算競技大会珠算の部で団体優勝、個人優勝し、全国大会に出場した。
169	厚木王子高等学校	団体	商業活動研究委員会実行委員会	—	学科商業の活動を活性化するために開校と共に設置された委員会組織で、学科の行事等で活躍した。
170	厚木王子高等学校	団体	吹奏楽部	—	第29回東関東吹奏楽コンクールで銀賞を受賞した。
171	厚木王子高等学校	団体	生徒商業研究発表大会チーム	—	学科を超えて生徒商業研究発表大会に取り組み、県大会最優秀賞、関東ブロック大会に出場した。
172	厚木王子高等学校	団体	美化委員会	—	過去数年にわたり、昼休みの花壇の水やり等、校内の環境美化・維持に貢献した。
173	厚木清南高等学校	団体	陸上競技部	—	第59回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会に出場し、4位、5位に入賞した。
174	厚木清南高等学校	個人	山口 愛佳	1	県代表として令和6年度全国高等学校定時制通信制体育大会第57回卓球大会に出場した。
175	大和高等学校	個人	間山 晴人	2	学業とサッカー部の活動を両立させ、海外の高校生とサッカーを通じて交流する活動を行った。
176	有馬高等学校	個人	大西 彩生	3	ユネスコスクールの取組としてカンボジアへ派遣され、国際理解・教育問題に熱心に取り組んだ。
177	綾瀬西高等学校	個人	岡田 龍磨	2	外部チームでのモータースポーツ選手としての取組と学校内の活動を両立した。
178	寒川高等学校	個人	山浦 大輝	3	美術部、華道部、写真部、科学部の四つの部活動に所属し、創造的な活動をした。
179	大磯高等学校	個人	本多 航	3	生徒会長として学校行事や学校説明会等の中心となり、成功に貢献した。
180	大磯高等学校	団体	木村 海美 鈴木 怜奈	—	第72回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会の実行委員や議長を務め、企画・運営に貢献した。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
181	大磯高等学校	団体	国際交流委員会	—	留学生の歓送迎会実施、グローバル講演会やスピーチコンテストの司会進行などを行った。
182	大磯高等学校	団体	吹奏楽部	—	第73回神奈川県吹奏楽コンクールにて金賞を獲得し、第30回東関東大会に出場した。
183	吉田島高等学校	団体	家庭クラブ	—	第72回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会神奈川大会の生徒実行委員会事務局として尽力した。
184	愛川高等学校	個人	金城 実穂	3	和太鼓部部長や学校行事の代表を務め、学業にも励んだ。
185	愛川高等学校	個人	NGUYEN DINH NGUYEN	3	地域の外国人消防団員に任命された。
186	愛川高等学校	個人	TRILLANES NATHALIE PELLERIN	3	英語運用能力評価試験（IELTS Academic）で優秀な成績を収めた。
187	平塚中等教育学校	個人	鈴木 陽磨	4	小田原市内を中心に縄文土器を研究し、令和6年9月に考古学者とともに講演を行った。
188	相模原中等教育学校	団体	制服検討委員会	—	昨年度から継続して、当該校の制服についての見直しと改善に取り組んだ。
189	相模原中等教育学校	団体	卓球部女子	—	高い目標を持って主体的に取り組み、団体チームとして優秀な成績を収めた。

表彰基準(2) 地域・社会等に貢献をしたもの

(敬称略)

No.	学校名	個人 団体 の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
1	神奈川工業高等学校	個人	井田 啓太	3	工業戦隊メガボルトと福祉サービス事業所のコラボ商品作製にあたり、渉外担当として尽力した。
2	神奈川工業高等学校	個人	工藤 幸輝	3	工業戦隊メガボルトと福祉サービス事業所のコラボ商品作製にあたり、団体担当として尽力した。
3	神奈川工業高等学校	個人	長野 颯悟	3	「工業戦隊メガボルトのかながわ憲章理念啓発活動」の企画・運営を担い、認知度向上に貢献した。
4	神奈川工業高等学校	個人	仁科 遥人	3	「工業戦隊メガボルトのかながわ憲章理念啓発活動」の企画・運営を担い、認知度向上に貢献した。
5	神奈川工業高等学校	個人	松平 蛍	3	工業戦隊メガボルトと福祉サービス事業所のコラボ商品作製にあたり、物販責任者として尽力した。
6	横浜翠嵐高等学校	団体	科学部	—	近隣の地域ケアプラザと連携して、地域の小学生に科学実験の体験会を行った。
7	横浜翠嵐高等学校	団体	書道部	—	近隣の地域ケアプラザと連携して、地域の小学生に書き初めの体験会を行った。
8	商工高等学校	団体	課題研究（福祉施設と地域連携）	—	社会福祉法人横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会の協力をもとに、複数の事業所と地域連携を行った。
9	商工高等学校	団体	課題研究（ボランティアスピリット）	—	戸塚区社会福祉協議会と協力し、社会福祉協議会の認知向上のための活動を行った。
10	商工高等学校	団体	総合ビジネス科3学年流通系（総合実践）	—	能登応援商店街を実施し、募金活動のためのノベルティを作成、能登半島地震の復興支援を行った。
11	商工高等学校	団体	総合ビジネス科2学年流通系	—	地域と連携し、地域の食材を使用したドレッシング・ポン酢を開発した。
12	港北高等学校	団体	太尾小地域連携プロジェクトチーム	—	太尾小学校と合同で地域交流会を行った。
13	新栄高等学校	団体	演劇部	—	日頃の活動の成果を発揮すべく、各種地域イベントで寸劇を披露し、地域の方々と交流した。
14	新栄高等学校	団体	在県生徒	—	地域行事では母国語で近隣外国籍児童に絵本読み聞かせを行い、学校説明会でも語学力を発揮した。
15	新栄高等学校	団体	吹奏楽部	—	日頃の活動の成果を発揮すべく、各種地域イベントで演奏を披露し、地域の方々と交流した。
16	新栄高等学校	団体	生徒会本部役員	—	日頃の活動の成果を発揮すべく、各種地域イベントで運営を補助し、地域の方々と交流した。
17	舞岡高等学校	団体	地域連携委員会	—	当校の竹林で採れる竹やタケノコを有効活用すべく、地域と連携して様々な取組を行った。
18	生田東高等学校	個人	井上 凜香	2	能登半島復興支援ボランティア活動に自主的に参加した。
19	生田東高等学校	個人	若尾 明希	1	能登半島復興支援ボランティア活動に自主的に参加した。
20	生田東高等学校	個人	—	—	能登半島復興支援ボランティア活動に自主的に参加した。
21	麻生高等学校	団体	音楽部	—	地域の祭りに参加し、地域住民に演奏を披露した。
22	麻生高等学校	団体	吹奏楽部	—	地域の演奏会やイベントに積極的に参加し、地域住民に演奏を披露した。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
23	麻生高等学校	団体	チアリーディング部	—	近隣の小学校のイベントで演技を披露した。
24	麻生高等学校	団体	メディア研究部	—	近隣の金程小学校及び千代ヶ丘小学校で小学6年生を対象に防犯教室を実施した。
25	麻生高等学校	団体	料理部	—	地域の祭りでお菓子を作り、参加者にふるまった。
26	海洋科学高等学校	個人	岩崎 颯斗	1	地域の祭りの伝統継承及び地域産業の漁業の担い手としての活動により、地域の活性化へ寄与した。
27	海洋科学高等学校	個人	高橋 進之助	1	地域の祭りの伝統継承及び地域産業の漁業の担い手としての活動により、地域の活性化へ寄与した。
28	海洋科学高等学校	団体	小松 大洋 澤口 謙志 下田 澤 谷下 藍杜 津田 優磨	—	神奈川県初となる親魚養成からのカワハギ種苗生産を実施し、2年がかりで放流まで行った。
29	海洋科学高等学校	団体	本木 優海 白田 樹 大迫 勇雅 渋谷 由記 福岡 大和 松本 利琥 屋形 紫乃	—	唯一当該校が持っていた小和田湾産アマモの株の維持に貢献し、株の増殖及び湾内植栽を実施した。
30	平塚農商高等学校	個人	久村 紫音	3	地域の課題の解決のため、研究成果を地域の実行委員に直接働きかけ、地域の活性化に貢献した。
31	平塚農商高等学校	個人	松井 飛龍	3	地域の課題を解決するため、地域素材を活用した取組を行い、広報活動に貢献した。
32	平塚農商高等学校	団体	農業クラブ 花卉研究班	—	桜ヶ丘公園花壇の再生と維持を実施し、平塚市みんなのまちづくり事例表彰年間大賞を受賞した。
33	平塚農商高等学校	団体	農業クラブ 食品科学研究班	—	近隣の富士見公民館活動と連携し、幅広い年代に向けた食育活動に取り組んだ。
34	平塚工科高等学校	団体	社会部	—	産業教育フェアにおいて自動車の魅力を県民へ広く伝え、地域産業界及び工業教育に貢献した。
35	湘南台高等学校	団体	書道部	—	地域のイベントや中学校の文化祭で書道パフォーマンスを披露した。
36	小田原高等学校	団体	放送部	—	生産農家・自治体と連携し、足柄茶のPR動画を制作し、地域産業の振興に貢献した。
37	相模原高等学校	団体	応援団部	—	応援団部の演技をととして地域の方々と交流を深めた。
38	相模原高等学校	団体	吹奏楽部	—	吹奏楽の演奏をととして地域の方々と交流を深めた。
39	相模原高等学校	団体	ハンドボール部	—	地域の保育園のプール設置、解体作業を福祉委員会とともにに行い、地域との交流を図った。
40	相模原高等学校	団体	福祉委員会	—	地域の保育園のプール設置、解体作業をハンドボール部とともにに行い、地域との交流を図った。
41	相模原弥栄高等学校	団体	バレーボール部	—	月に2～3回、当該校において地域の小中学生を対象にバレーボール教室を実施した。
42	相模原弥栄高等学校	団体	陸上競技部	—	地域の小学校と連携して、市内の6年生で行う連合運動会の実技指導を授業の中で行った。
43	三浦初声高等学校	団体	地域資源活用選択生	—	地域の保育園・小学校と連携し、農業体験を企画、立案、実施し、農業の魅力を伝えた。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
44	大和高等学校	団体	サッカー部	—	通学路及び学校周辺の地域の清掃活動を継続的に行った。
45	大和高等学校	団体	野球部	—	通学路及び学校周辺の地域の清掃活動を継続的に行った。
46	座間高等学校	団体	女子バスケットボール部	—	地域の小学生への非行防止教室、駅前のごみ拾い、向日葵の植栽を行った。
47	綾瀬高等学校	団体	野球部	—	月１～２回の学校周辺の清掃活動、綾瀬市福祉レクリエーション大会のボランティアを行った。
48	大磯高等学校	団体	生物同好会	—	大磯町や地域住民と協力して、耕作放棄地対策に取り組んだ。
49	平塚中等教育学校	団体	６年ボランティアチーム	—	不要になった文具、楽器、食品を海外やフードバンクに寄付する活動を行った。
50	藤沢支援学校	団体	創造サービス班	—	地域の万福寺境内及び墓地周辺の清掃活動を行った。
51	小田原支援学校	団体	大井分教室	—	小田原市の水田で県主体のスクミリンゴガイ（通称ジャンボタニシ）の駆除活動に協力参加した。

表彰基準(3) 適切な判断のもと、人命救助など勇敢な行動をしたもの

(敬称略)

No.	学校名	個人 団体 の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
1	神奈川工業高等学校	個人	内藤 慶仁	2	交通事故に遭遇したが、勇気ある行動と臨機応変な対応を行い、その後の事故の処理に尽力した。
2	旭高等学校	個人	上津原 樹	2	駅で体調不良の高齢の男性に声をかけてタクシー乗り場まで付き添い、乗車の手助けをした。
3	旭高等学校	個人	小池 陽斗	2	道に迷っていた高齢の女性を最寄りの交番に案内し、警察官に引き渡すまで付き添った。
4	旭高等学校	個人	小松 楓真	2	
5	磯子工業高等学校	個人	狩野 峰盛	3	兄弟で力を合わせて万引した男を取り押さえ、窃盗事件の犯人逮捕に貢献した。
6	横浜氷取沢高等学校	個人	岡田 美優	3	学校付近で当て逃げ事故にあった方を介抱し、警察からの聴取に協力した。
7	横浜氷取沢高等学校	個人	岡本 絢	3	
8	横浜氷取沢高等学校	個人	草刈 友那	3	
9	横浜氷取沢高等学校	個人	鷺井 寛奈	3	
10	横浜氷取沢高等学校	個人	神 智治	2	路上で倒れている方を発見し、救急車を呼び介抱し、人命救助を行った。
11	横浜氷取沢高等学校	個人	藤後 龍太朗	2	
12	横浜氷取沢高等学校	個人	—	—	
13	向の岡工業高等学校	団体	集中講座「多摩川の自然」履修生徒	—	校外学習の帰路、電車内で倒れた男性を生徒と教員が協力して救護し、被害拡大防止に努めた。
14	麻生高等学校	個人	奥 美輝	3	令和6年2月、下校途中の交差点で倒れていた高齢の女性を発見し、救急搬送されるまで介抱した。
15	麻生高等学校	個人	片山 朱莉	3	
16	麻生高等学校	個人	山崎 心春	3	
17	横須賀南高等学校	個人	長曽我部 優空	2	道端で動けなくなっていた方を助け、目的の場所まで介添えて送った。
18	逗子葉山高等学校	個人	三木 晴翔	1	授業中に同級生が倒れた際、1名はAEDを取りに向かい、もう1名が廊下で応援職員を呼んだ。
19	逗子葉山高等学校	個人	山本 一輝	1	
20	相模原高等学校	個人	山口 悠里	2	道で迷っている方を保護し、交番に連れていき、家族が来るまで一緒にいて家族に引き渡した。
21	相模原高等学校	個人	後藤 爽良	1	
22	相模原高等学校	個人	洪沢 日和	1	

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
23	麻溝台高等学校	個人	石田 愛那花	1	教室で意識を失った同級生を介抱し、職員への連絡、救急車の要請、救急隊への状況説明を行った。
24	麻溝台高等学校	個人	NOWER NOREEN	1	
25	大和東高等学校	団体	野球部	—	野球部の生徒6名が怪我をして泣いている児童を助け、児童の友人の保護者に引き渡した。
26	伊志田高等学校	個人	赤坂 瑛太	2	下校途中、学校近くで迷い帰宅できない高齢者に声をかけ、5人で連携し家を探して送り届けた。
27	伊志田高等学校	個人	猪俣 雄平	2	
28	伊志田高等学校	個人	岩田 雄吾	2	
29	伊志田高等学校	個人	神谷 真幸	2	
30	伊志田高等学校	個人	益田 瑞貴	2	
31	伊志田高等学校	個人	石川 龍之介	2	下校中、坂道で転倒し、頭部にけがをしている高齢者を救助した。
32	伊志田高等学校	個人	松本 唯都	2	
33	伊志田高等学校	個人	長澤 楓香	1	路上にて熱中症で意識がなくなっていた水道メーター検針中の方を救助した。
34	寒川高等学校	個人	鶴井 来空	2	遮断器が下りた踏切に入ろうとした高齢者を制止し、人命を救助した。